

2-6 生涯学習

「春期公開講座」、「公開講義」はともに、開学翌年の平成8年から実施している事業である。一方、「社会人専門講座」は平成26年度から実施している。

平成30年度および令和元年度の概要は次のとおりである。

2-6-1 公開講座

公開講座は、地域住民の知的欲求に応え、知識や教養を身につける学習機会の提供ならびに本学の有する知的財産を地域住民に還元し、開かれた大学として本学の地域社会に対する役割を果たすことを目的としている。

(1) 平成30年度

① 春期公開講座（4日間）

実施日	講師	職名	テーマ	受講人数
5/12	大久保卓也	環境科学部教授	魚の分布と環境との関係―琵琶湖流入河川での調査結果から―	147
5/19	横井和美	人間看護学部教授	ケアに生かせる音楽療法の紹介	182
5/26	北村千寿	工学部教授	人類の歴史を変えた材料の歴史―有機材料編―	129
6/2	中井直也	人間文化学部教授	健康食品の正しい理解と利用	173

② 社会人専門講座（3日間 受講者17名）

テーマ「健康寿命を延ばすコツ―身体も心も朗らかに―」

実施日	講師	職名	テーマ
11/21	平田 弘美	人間看護学部教授	加齢による変化を知って、健康寿命を延ばそう！
11/21	米田 照美	人間看護学部准教授	温浴で心も身体もリラックス～健康寿命を延ばそう！～
12/28	甘佐 京子	人間看護学部教授	笑って延ばそう心の健康寿命

(2) 令和元年度

① 春期公開講座（5日間）

実施日	講師	職名	テーマ	受講人数
5/18	横田尚美	人間文化学部准教授	最近話題の『ジャポニスム』とファッション史	112
5/25	古株ひろみ	人間看護学部教授	子どもの目線で医療を考える	119
6/1	田邊裕貴	工学部教授	かたちと強さと壊れ方	100
6/8・29	西田隆義	環境科学部教授	普通種と稀少種：違いはどこにあるのか？	112

② 社会人専門講座（3日間 受講者18名）

テーマ 「食べ物から探る私たちの健康」

実施日	講師	職名	テーマ
11/12	佐野光枝	人間文化学部准教授	滋養で育む食の力～腸内細菌パワーの最新情報～
11/12	廣瀬潤子	人間文化学部准教授	おいしく食べて健康に！～あなたの適量を調べてみましょう～
12/19	矢野仁康	人間文化学部教授	食べ物と薬～食べ物で薬が毒に変わる～

(3) この2年間の受講者の状況（春期公開講座から）

① 年齢別分布

年齢分布	平成30年度		令和元年度	
	人数	%	人数	%
20代以下	30	5.4	28	6.8
30代	8	1.4	10	2.4
40代	15	2.7	13	3.2
50代	65	11.6	31	7.5
60代	216	38.6	158	38.3
70代	186	33.2	140	34.0
80代	40	7.1	32	7.8

年齢別では、60歳代および70歳代で約7割を占めている。90歳代や10歳代も若干名の受講がある。

② 地域別分布

地域分布	平成 30 年度		令和元年度	
	人数	%	人数	%
彦根市	110	34.4	73	28.8
長浜市	21	6.5	22	8.7
東近江市	52	16.1	43	16.9
近江八幡市	31	9.6	22	8.7
米原市	11	3.4	10	3.9
野洲市	6	1.9	2	0.8
愛荘町	10	3.1	8	3.2
その他	81	25.0	73	29.8
合計	322	100	253	100

地域的には、地元彦根市が約3割で、次に東近江市が続いている。

(4) 今後の期待等

アンケートの結果、今後の公開講座のテーマや実施について次のような意見が出ている。

① テーマについて（希望の多かった分野順）

- ・健康・体力
- ・食生活、栄養
- ・病理
- ・水資源・土壌
- ・地域文化（日本）
- ・公衆衛生
- ・生物、生態
- ・環境科学

② 主な要望・感想等

- ・できるだけ土曜日に開講して欲しい。
- ・このような講義をもっと増やして欲しい。



春期公開講座の様相

2-6-2 公開講義

公開講義は、本学の講義を地域住民に公開することにより、地域の人々へ学習の機会を提供することを目的としている。

1科目について受講料は6,000円で、実験・実習や教材等の費用は受講者負担とし、また、単位認定は行わない。

平成8年度の初回から令和元年度後期までの受講者延べ人数は約4,700人で、90歳を超える受講者もいた。

平成30年度および令和元年度の公開講義の概要は、以下のとおりである。

(1) 公開講義受講者の概要

受講状況	30前	30後	令和元年前	令和元年後	平均	
公開科目数	86	93	91	89	89.8	
受講科目数	38	43	46	48	43.8	
受講実人数(人)	72	67	78	72	72.3	
受講延人数(人)	104	99	109	108	105.0	
累積延総数(人)	4,393	4,492	4,601	4,709	-	
受講者年代(人)	20代	0	0	0	0.0	
	30代	1	1	2	1.3	
	40代	1	1	1	0.8	
	50代	3	1	6	3.3	
	60代	33	31	36	31	32.8
	70代	25	25	26	30	26.5
	80代	7	7	6	6	6.5
	90代	2	2	1	1	1.5
	平均年齢(歳)	69.9	69.9	67.8	69.6	69.3
受講者住所(人)	彦根市	20	18	24	24	21.5
	長浜市	7	7	8	5	6.8
	東近江市	10	7	10	9	9.0
	愛荘町	4	3	3	3	3.3
	近江八幡市	6	5	5	6	5.5
	大津市	6	7	6	7	6.5
	米原市	3	3	4	3	3.3
	野洲市	3	3	3	3	3.0
	多賀町	3	3	2	1	2.3
	守山市	1	1	1	1	1.0
	湖南市	1	1	1	1	1.0
	その他	8	9	11	9	9.3

① 概要

- ・この2年間の公開科目数の平均約90科目に対し、受講科目の平均は約44科目で、ほぼ半数近くの科目が受講されている。

② 平均年齢と受講者の居住地域

- ・この2年間の受講者の年齢の平均は69.3歳であり、60歳代、70歳代で8割以上を占めている。
- ・地域別には、地元彦根市在住者は3割程度であり、東近江市・長浜市・大津市が続いている。

(2) 受講者の出席状況と満足度等

(満足度は後期講義のアンケートで実施)

出席率と満足度		H30 前	H30 後	R1 前	R1 後	平 均
出席率 (%)	80～100%	75	76.8	76.1	75.9	76.0
	50～79%	20.2	16.2	13.7	16.6	16.7
	49%以下	4.8	7	10.2	7.5	5.7
満足度 (%)	おおいに満足	-	30.8	-	48.8	39.8
	だいたい満足	-	60.3	-	48.8	54.6
	どちらとも いえない	-	8.9	-	2.4	5.7
	やや不満	-	0	-	0	0.0
	まったく不 満	-	0	-	0	0.0
アンケート回答 率 (%)		-	77.6	-	74.3	76.0
受講延べ人数 (人)		104	99	109	82	104

①出席率

- 平成 30 年度および令和元年度の前後期は、7割以上の受講生が 80%以上の出席率であった。

②満足度

- 5段階（おおいに満足・だいたい満足・どちらとも言えない・やや不満・まったく不満）評価で、満足（おおいに満足・だいたい満足）は、平成 30 年度は 91.1%、令和元年度は 97.6%であった。
- 不満（やや不満・まったく不満）の回答はいずれも 0%であった。

③受講回数

- 令和元年度までに 3 回目以上の受講者は、平成 30 年度前期は 73.6%、後期は 71.6%、令和元年度前期は 74.4%、後期は 72.2%であり、やや増加傾向にある。
- そのうち、10 回以上の受講を続けている方は、令和元年度は 27 名おられ、中には開学以来継続して受講されている受講生の方も複数名おられる。
- 令和元年度に初めて受講した方は、13.9%である。

(3) 受講者の意見・要望

(平成 30 年度、令和元年度後期アンケートより抜粋)

- 学生は親切で明るい雰囲気と共に楽しいひと時を過ごすことができた。社会人受講生にも違和感

なく接してくれたので大変嬉しかった。

- 環境が抜群、教授陣も優れた人材ですし、図書館も充実している。
- 公開講義や各種イベントの県民との共有を通じて「地域に開かれた大学」を実践されている。講義におけるレスポンスカード等での学生の質問に対して次回講義で回答されるなど先生が真摯に対応しておられる。
- 公開講義等により私の日常生活に張り合いと前進する充足感が得られております。事前に講義資料を県大ポータル USPo（アスポ）にてダウンロードさせていただいたので予習ができた。
- シラバスを読んでいると、気になる講義が沢山あるのでもっと選択できる開講科目を増やしてほしい。